

婦人科

絨毛上皮腫患者の
看護計画について

発表者 土屋 久美子
婦人科 一同

はじめに

これは24才の女性でまだ結婚してから半年、はじめての妊娠なのに胞状奇胎から絨毛上皮腫となり、子宮全摘をしなくてはならないという患者の入院時から約10日間の検査期間にたてられた計画である。

入院時の状態

十月二十一日十時半、夫と母親につきそはれて病棟に入って来たがやせて顔色が悪くどことなく弱々しい感じを受ける患者であった。病室に案内し寝衣に着替えさせてから看護記録をとるために面談室に呼んだが入院の時にかぶって来たネックチーフをしたままなので不信に思いながらとりはじめた。

看護記録

氏名	○ 崎 ○ 子 S 21年4月30日生 24才	血液型	住所	松本市芳川区○○町
入院	S 45年10月21日 10時	方法	歩行 車椅子 寝台車	
連絡先	昼松本○-○○○ 夫の勤務先 夜電報 (○○銀行)	職業	夫銀行員 本人なし	
病名	絨毛上皮腫	家族関係	夫29才 健在 子供 男0人 女0人	
既往歴	S45.7.17 虫垂切除術(松本市内○○医院) 8.24 胞状奇胎で子宮内容除去術 (上田市内××病院) 10.6 白血病の疑(当院○○内科)白血球の異常変化あったためなるも心配ないとのこと	父57才 健在 同胞 男2人 女4人 母52才 1人6才で死亡原因不明		
結婚	S 45年 4月 5日 23才	月	初経 13才	量 中等量
妊娠・分娩歴	S 45.8.24 10回 胎状奇胎で 回 分娩 子宮内容除去術	経歴	周期 28日	障害 下腹部痛
			持続 5~6日	最終月経14より5日間

入院までの経過

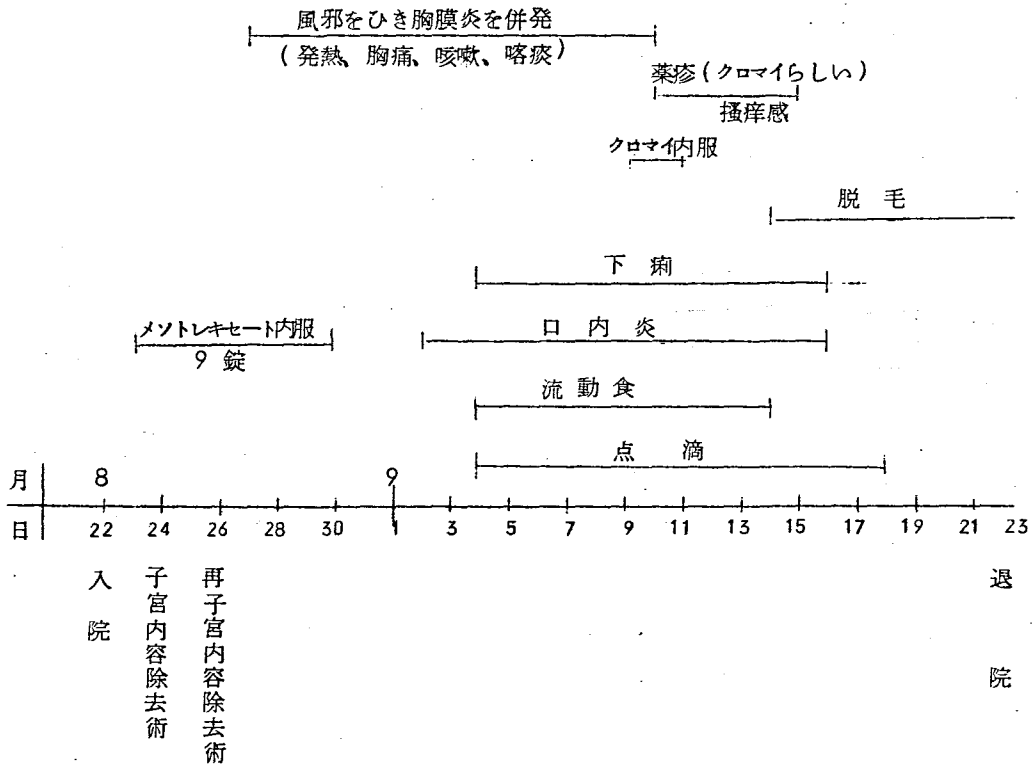
本年4月14日より5日間生理があり5月の予定の日になっても出血がないため妊娠したのではないかと思っていたところ5月末より時々出血あり松本市内〇〇病院受診、流産の傾向にあるとのことで治療を続けていた。6月末より通院に便利な某医院に変わって治療を続けるも相変わらず時々出血ありまた悪阻症状として嘔気、嘔吐があった。

7月16日胃部痛、嘔吐あり某外科医院受診、虫垂炎とのことなるも妊娠中のため注射をして様子みるも軽減せず、翌17日手術を受けた。その際4ヶ月にしては子宮が大きいと言われた。8月はじめより静養のため実家(上田)に帰るも出血は時々あり某助産院では安静にしていれば良いと言われたが心配になり8月22日上田市内××病院受診、胎状奇胎と診断され入院となる。

××病院入院中の経過

これは患者から聞き出した事と紹介状を中心
に書いたもので正確とは言えない点もあると思
う。

———| メソトレキセートに関するもの
———| クロマイに関するもの
———| 胸膜炎



ア 体 レ ル ギ 質	××病院入院中クロマイ?内服して全身に発疹がでた。他はなし	趣 味 編 物	嗜 好 何 でも 食 べ る	宗 教 な し
治 療 方 針	O P 予定			
看 護 目 標	①肉体的苦痛の緩和につとめる。 ②家族にも病気に対する理解をもたせ患者をはげますようにすすめる。 ③患者の不安をとりのぞくようにつとめる。			
看 護 計 画	①身体の清潔及び風邪をひかせないよう注意し感染防止に努める。 ②栄養補給 ③出血状態及び脱毛状態の観察 ④治療処置に対するオリエンテーションを十分にし不安をいだかせない。			

S A

以上のような看護計画がたりました。

カードックスの記録について

当科使用例としてあげますので参考にして下さい。(表3. 表4)

看護計画は受持看護婦が上申から受けた事を土台に患者ケアを行いながら問題点を把握し、またその解決法をみいだした上でカードックスに記入され実施される。またこの計画は朝夕の上申及びカンファレンスでチェックされ婦長及び他のスタッフにより評価され修正される。

以上のような方法でたてられたこの患者の看護計画を述べてみることにします。

10月21日看護記録をとって上った問題点からその解決策を述べると

問題点①

性器出血、下腹部痛がずっと持続している。

解決策

- 出血、下腹部痛の原因を説明し不安の除去につとめる。
- 局所の清拭を指導し清潔に保たせる。
- 出血、疼痛の状態の観察につとめる。

問題点②

全身倦怠感を訴えている。

解決策

- メソトレキセートの副作用及び出血のあとまだ体力が完全に回復していないためである
- うことを話し適度の運動等より食欲増進をはかり体力をつけるよう指導する。

それから××病院において5.6種類も内服していた薬について何の薬なのか知らずにのんでいたような状態であったので

問題点③

今まで行って来た治療処置に対して理解出来ていない

解決策

- 治療処置に対してオリエンテーションを行い患者が理解し納得したりえて療養に専念出来るように援助する。

問題点④

結婚したばかりで子供もないのに子宮全摘術を受けなくてはならない

解決策

- なぜ子宮をとらなくてはいけないか理解出来ている様子なので妊娠とか子供という言葉をなるべく患者の前では出さないようにし、不必要な刺激を与えないようにする。

10月22日まだ出血があったのでフリードマン1万単位と5000単位を入れるにあたり導尿にて採尿

10月23日病室に行ってみると一人で窓の方を向いて本を読んでいた。

問題点⑤

入院時より口数が少なく部屋の人ともなかなか馴染まないような感じを受ける。

解決策

- 同じ病室に編物という同じ趣味を持っている患者がいるので看護婦が間にはいって会話の出来る雰囲気をつくってあげるように努める。

問題点⑥

闘病生活が長く出血もあったために入浴も出来ない状態が続いていた。

解決策

- 皮膚の保護と気分転換のために清拭、足浴等を行うようにする。実際には24日洗髪、27日清拭、29日足浴を行った。

10月24日フリードマン1万単位5000単位陰性に出たので

10月25日1000単位と500単位を入れたがこれも導尿にて採尿

問題点⑦

メソトレキセートの副作用で脱毛がひどく特に頭頂部直径15cmほどの部分がほとんど毛がないような状態である。

解決策

- 脱毛状態の観察を行う。
- 羞恥心を与えないように注意する。
- 時期が来るとはえて来るから心配しないよう説明する。
- 養毛剤の使用を指導する

10月27日 フリードマン1000単位と500単位陰性の結果が出た。

10月29日 フリードマン100単位と50単位を入れたが出血が少量あったので尿はカテーテルにて採取したので

問題点⑧

検査尿採取にあたり出血があるので時々導尿を行っている。

解決策

- 導尿時手指及び局所の消毒を厳重にする。
- 水分摂取をすすめて膀胱炎の予防につとめる。
- また膀胱炎症状の観察を行う。

以上のような看護計画を行って来たが10月31日フリードマン反応の結果が50単位のみ陽性とのことで手術中止となりメソトレキセートによる治療を行うことになり子宮をとらなくて良いとのことで本人の晴々とした笑顔を見ることが出来、私達もほっとしたが、また副作用が強くなるおそれがあり、その看護が必要となって来るものと思われる。

ま と め

絨毛上皮腫のため、不幸な転帰をとった患者は数多くあるが、胞状奇胎からの続発を何とかいとめることは出来ないものか。

胞状奇胎分娩後の看護管理の良否がその鍵である点を念頭におき看護上の問題点、具体策を中心に今後大きな課題として残されている。

私達がカードックスを用いはじめて1年10ヶ月に及ぶが、テーマはともあれ、この様な機会を得られカードックスの使い方についても一度勉強しなおすことが出来たことはとても良かったと思っている。未熟ながらも良い看護を目標に前向きな姿勢で進んで行きたいと思っている。

以 上

(表3)

カードックス

看護計画				婦人科病棟			
基本事項	月日	看護上の問題	S	月日	解決法(対策)	S	
食事 F(常食)	21/X	性器出血、下腹部痛が	A	21/X	○原因を説明し不安の		
安静 O(歩行可)		持続している			除去につとめる。		
B, B					○局所の清拭を指導し		
身体の清潔					清潔に保たせる。		
					○出血、疼痛の状態の		
					観察につとめる。	A	
看護の原則(疾病に対する)	◇	全身倦怠感を訴えている	A	◇	メソトレキセートの副作用		
1 中毒症状					と出血のあとまだ体力		
2 るいそう					が完全に回復していな		
3 転移					いためであろうことを		
特記事項					話し適度の運動等によ		
22/8 国立××病院にて胎状奇					り食欲増進をはかり体		
胎で子宮内容除去術					力をつけるよう指導	A	
22/8より5日間メソトレキ	◇	今まで行って来た治療		◇	オリエンテーションを行い		
セート内服 9錠		処置に対して理解出来			患者が理解し納得した		
24/10 フリードマン1万、5千		ない	A		うえで療養に専念出来		
単位(-)					るよう援助する。	A	
27/10 フリードマン100Q 500	◇	結婚したばかりで子供		◇	妊娠とか子供という言葉		
単位(-)		もないのに子宮全摘を			薬をなるべく患者の前		
31/10 フリードマン100単位(-)		しなくては行けない	A		では出さないようにし		
50単位(+)					不必要な刺激を与えな		
					いようにする。	A	
29/10 OP 予定	23/X	入院時より口数が少な		23/X	同じ部屋に同じ趣味を		
26/10 OPオリエンテーション済み		く部屋の人ともなかなか			持っている患者がいる		
		かなじまない。	B		ので看護婦が間にはい		
					って会話の出来る雰囲気		
					気をつくってあげる。	B	
		◇ 闘病生活が長く出血も		◇	皮膚の保護と気分転換		
		あったので入浴が出来ない			のために清拭足浴等を		
		状態が続いている。	B		行うようにする。	B	
診断名	絨毛上皮腫		手術	10月21日入院			
202号室	4ベット	氏名	○崎○子24才	受持 医師	○屋○一	健世	A型

